

vol.153

平成25年照明普及賞号

一般社団法人 照明学会 照明普及分科会

照明 | あたらしい



目黒天空庭園・オーパス夢広場

一般社団法人 照明学会 照明普及分科会
(以下照明普及分科会)は、照明に関する
知識の普及並びに施設の発達を図ることを
目的に活動している。

照明普及賞

照明普及分科会は、昭和32年(1957年)創設以来、その年に竣工した優秀な照明施設を「照明普及賞」として表彰してきました。

施設の企画、設計、施工などに多大な功績のあった個人、法人またはグループに与えられたもので、賞の選考にあたっては、視環境、照明技法、照明効果などの観点から総合的に審査されます。

対象となる照明施設は、住宅・事務所・店舗・ホールをはじめとした屋内施設から、屋外・交通・スポーツ施設まで広範にわたり、その地域を代表する照明施設といえるでしょう。

照明普及賞受賞記念





合併講義室

■施設の概要

医学教育のための各種講義室と実習室等からなる施設である。学生の自学自習やグループ学習等のためのコミュニケーションスペース、学生同士や留学生、外国人研究者等との交流を促進するマルチラーニングスペースが設けられている。

■照明設備

合併講義室では、主照明として天井高さに合わせて出力及び配光の異なる5000KのLEDダウンライトを使用することで平均照度681ルクスを確保し、グレアや照度むらの少ない機能的で快適な視環境を実現している。また、段差をつけた特徴的な天井面には、木漏れ日をイメージした間接照明を配置し、空間の明るさ感を確保した。

外観では、風除室上部に5000Kの66.4WLED投光器3台を取り付け、軒をライトアップすることで、建築デザインと調和した良好な夜間景観を形成している。

全館LEDを採用し、人感センサによる制御を積極的に取り入れることにより、改修前と比較して約65%の照明電力を削減している。



コミュニケーションスペース



外観